



令和5年1月  
浜松市立赤佐幼稚園

### 3学期の始まり。

あけましておめでとうございます。1月6日（金）に子供たちが元気に登園し、3学期がスタートしました。始業式の時、子供たちに箱根駅伝の写真を見せたら、「知ってる！」「テレビで見たよ！」「駅伝！」「マラソン！」と、声に出す子が随分いました。園児にとっても正月の風物詩として身近なものになっている様子が伺えました。

さて、3学期は期間こそ短いですが、節分やお別れ遠足、ひなまつりや卒園式など節目となる行事がたくさんあります。冬ならではの自然体験もあり、それらが園生活をより豊かなものとしてくれるでしょう。コロナのことはまだまだ心配ですが、子供たちの健康や安全を守りつつ、なるべく教育活動を止めないように力を尽くしていきたいと思います。

### みんなで於呂神社へお参りに行ったよ。



隣の敷地にある於呂神社。参道を歩くと、緑の木々、澄んだ空気を感じ、心を清らかにしてくれます。素晴らしい環境で、赤佐幼稚園にとって本当にありがたく思います。年の初めですから、みんなでお参りに行ってきました。願い事はそれぞれ(笑)。また遊ばせていただきます。



### 節分の行事を通して、自分と向き合う。

まだ先のことですが、2月には節分があります。皆さんご存じ、昔からある伝統行事ですね。鬼の存在に恐れを抱いたり、福の神が現れてホッと、お菓子を拾って大いに喜んだり・・・、子供の感情がとても揺さぶられる行事でもあります。

この行事を通したねらいは、以下の通りです。実は、学年ごとに違います。



- |       |                                          |
|-------|------------------------------------------|
| 【年少組】 | 節分があることを知り、興味・関心をもって会に参加する。              |
| 【年中組】 | 節分の由来を知り、行事に親しんだり自分の中にある悪い鬼を追い払おうとしたりする。 |
| 【年長組】 | 節分を通して自分と向き合い、悪いところを直そうとする。              |



年少組は「目の前に現れた鬼」をやっつけることで、悪いものを退治する体験をします。年中組、年長組になると、自分の行動や内面と向き合ってもらい、この機に「悪いところを直そう」と働き掛けます。例えば「食べ物の好き嫌い」「怒りんぼう」「泣き虫」などが挙げられますが、あくまでも自分自身で振り返るのであって、教師（他人）が相手に指摘するものではありません。子供なりに自分を俯瞰的に見ることのできる良い機会でもあるので、幼稚園では節分を重要な行事として位置付けています。



## 「怖さ」を味わう貴重な機会。

鬼の存在は、私たち大人が思っている以上に子供たちにとって大変怖いもの。毎年、鬼が登場すると、必ず泣く子が現れます。逃げ出してしまう子。教師にすがる子……。豆を投げやっつけようとする子はいますが、必死で自分を奮い立たせる様子も見られます。

この「怖い」という感情や、怖さで泣いてしまう体験は、豊かな心を育む上で欠かせないものと捉えています。「楽しい」「嬉しい」「心地良い」だけでなく、対極にある「悲しい」「寂しい」「怖い」といった感情、感覚を生活の中で体験することに意味があるのです。対極にあるものを知るからこそ、「楽しい」「嬉しい」の良さが深く実感できるのではないのでしょうか。



## 人、もの、こととの関わりの中で育まれる多くのこと。

以上のことを踏まえながら、幼稚園では節分当日を迎えるまでに様々な仕掛けを行い、子供たちの心を揺さぶります。鬼のパンツ、爪などのアイテムを使い、明らかに何かの来た痕跡を園内に残すのです。登園して異変に気付いた子供たちは騒然となります。「鬼が幼稚園に来た？」「僕たちがいない間に、幼稚園で何をしていたのかな・・・？」「私たちを連れて行こうとしているのかな・・・。」

子供たちが、目の前の状況や物事に対して想像を巡らしながら推察し、自分の思いや考えをその場に居合わせた子同士で伝え合います。状況を知らない子がいれば教えようとする動きも見せます。また、年長児が怖がっている年少児を支えようとする姿も見られます。仕掛けることによって子供同士の関わりは広がりを見せ、共感し合ったり子供なりに対策を考えたりするなど、多くの価値ある体験をもたらしてくれることでしょう。



今年も、当日までに様々なことを仕掛けます。ひょっとしたら怖がって、幼稚園に登園するのを渋る子がいるかもしれません。そんな時は、こっそり担任までお知らせください。配慮、加減は検討しますが、同時に幼稚園の意図について御理解いただけたらうれしいです。豊かな心を育むためにも、御協力をよろしく願います。